

教育研究データ			
1. 氏名	岩下 康子		
2. 生年月	1968 年 3 月		
3. 取得学位	教育学士 経営大学院修士 (MBA)		
4. 教育業績			
教育上の能力に関する事項	年月	概要	
(1) 教育内容・方法の工夫	2021 年～ 2023 年 2024 年	・県立広島大学と連携した地域学習を行い、学生を引率してフィールドワークなどを実施し、その報告書をまとめた。地域学習については、グローバル地域研究の中で継続している。 ・外国人女性のリプロダクティブヘルス・ライツについて研修を積み、授業への取り組みに応用した。 ・PBL 活動を取り入れたゼミ活動を行った。	
(2) 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	2022 年 2024 年	・グローバル人材育成教育学会にて、「ベトナム人技能実習生の帰国後キャリア」に係る実践発表を行った。 ・「新たな外国人材受け入れ制度と地方の共生社会について考える」と題して、世羅町にて講演を行った。 ・橋本財団の助成金を用いて、広島市で初の外国人女性のためのシンポジウムを開催した。 ・安佐北区の公民館において、「地域の多文化共生」及び「外国人住民との共生」についての講演を行った。	
5. 研究業績			
(1) 著書	単著 共著 の別	発行の 年 月	発行所
『変容する移民コミュニティ』移民・ディアスポラ研究 9	共著	2020 年	明石書店
『広島発「技能実習生事件簿」スクラムユニオン・ひろしまの闘い』	単著	2021 年	文芸社
(2) 学術論文	単著 共著 の別	発行の 年 月	掲載紙および巻/号, 頁
技能実習法における監理団体の考察	単	2021 年 12 月	広島文教大学紀要第 56 巻

広島市差別のない人権尊重のまちづくり条例制定に向けて	単	2022 年 3 月	文教グローバル第 6 号
技能実習生のキャリア形成—技能実習を修了したベトナム人の調査を通して—	単	2022 年 5 月	移民政策研究 Vol.14 査読あり
フィリピン英語留学に関する一考察——ラプラプセブ国際大学における留学調査から——	単	2022 年 12 月	広島文教大学紀要 57 号
セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツについての一考察—技能実習生の乳児遺棄事件をもとに—	単	2023 年 12 月	広島文教大学紀要 58 号
技能実習制度の見直しに関する一考察」—「技能実習制度及び特定技能制度の在り方に関する有識者会議」最終報告書を通して—	単	2024 年 2 月	文教グローバル第 8 号
(3) 研究・作品発表	発表の年月		発表学会等
技能実習生の帰国後キャリアの一考察	2019 年 5 月		移民政策学会 立教大学
基調講演「持続成長実現に向けたアジアの課題」	2019 年 10 月		グローバル人材育成教育学会第 5 回中四国大会 本学
東広島市の乳児死体遺棄事件について	2024 年 3 月		人権白書：外国人 人権法連絡会
育成就労制度と人権について	2024 年 5 月		移民政策学会 立教大学
(4) 所属学会			
1. グローバル人材育成教育学会			
2. 移民政策学会			
3. 多文化関係学会			
4. 開発教育協会			
5. 地球市民教育塾ひろしま 理事役員			